



AUTUMN GAME 1st 2025年8月31日(日)K.015:00 天候:晴 場所:アミノバイタルフィールド

チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
慶應大学 UNICORNS	7	3	0	0	10
明治大学 GRIFFINS	0	14	10	21	45

グリフィンズ1戦目は、慶應大学UNICORNS。

**1Q**

明治のキックで試合開始。立ち上がりから慶應大学はテンポの速いパスオフェンスを展開し、明治ディフェンスは対応し切れず失点。明治オフェンスも反則や相手ディフェンスのプレースピードに苦しみ、リズムをつかめないまま第1Qを0-7で終える。

2Q

第2Q開始早々、#0白岩(4年)と#6館(4年)のタックルで相手がボールをファンブル。これを#43大村(3年)がリカバーし、敵陣残り1ヤードという絶好のチャンスを迎える。直後、#21高橋(4年)が力強く持ち込みタッチダウン。試合を振り出しに戻した。

それでも慶應のパスオフェンスを止めることはできず、フィールドゴールで3点を追加されてしまう。だが2Q残り4分、#11後藤 珠(2年)や#21高橋のロングゲインで敵陣深く攻め込むと、最後は#15新楽(4年)のパスを#89金子(4年)がキャッチしタッチダウン。逆転に成功する。

その後はディフェンスも落ち着きを取り戻し、相手を抑え込み前半終了。スコアは14-10、明治がリードして折り返す。



3Q

第3Q、再び#21高橋(4年)のランでおよそ50ヤードをゲインし、一気に敵陣へと攻め込む。

しかし慶應大学のビッグプレーに阻まれ、攻め切ることができずフィールドゴールで3点を追加するにとどまる。

その直後、#50水野(3年)のタックルで相手がファンブル。これを#27小黒(1年)がリカバーし、ディフェンスのビッグプレーが試合の流れを引き寄せる。

直後のオフェンスでは#21高橋(4年)が1プレーで持ち込みタッチダウン。

スコアを24-10とし、明治が慶應を引き離して第3Qを終える。



4Q

第4Qも開始早々から明治ディフェンスが牙をむく。#27小黒(1年)が値千金のインターフェント。直後のランプレーでは#21高橋(4年)が再び一発でエンドゾーンに持ち込み、スコアは31-10。明治が慶應大学を大きく突き放す。

続くディフェンスシリーズでは、勢いを増す慶應オフェンスに攻め込まれるが、ここでも#27小黒(1年)が再びインターフェント。ピンチをしのぐも、自陣奥深い位置からのオフェンスを強いられる。オフェンスはかみ合わず、自陣40ヤード付近から再びディフェンスにバトンを渡す展開となるが、ここは危なげなく慶應を押さえ込む。

その好守の流れを受けたオフェンスは、#15新楽(4年)から#19五十嵐(4年)へのスクリーンパスで一気に70ヤードをゲインし、そのままタッチダウン。点差を38-10と広げる。

さらに直後のディフェンスでも光るプレー。#7天野(4年)の鋭いタックルで相手がファンブル。これを#6館(4年)が確保し再び攻撃権を奪う。オフェンスもその流れに応え、#5宇野(3年)が押し込みタッチダウン。スコアを45-10とし、試合を決定づけた。





◆慶應大戦を振り返って

慶應戦にて、選手にインタビューを実施しコメントを頂きました。ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました

◆インタビュー #21 高橋周平 (RB)



■慶應大学と対戦した印象。

ランストップに長けていてフィジカルのあるチームという印象でした。昨年負けているということもありますが何をしてくるかわからない怖さもありました。

■慶應戦の反省

初戦ということもあり、全体的に入りが悪くODK全てにおいてエンジンが掛かるまで時間がかかりました。

■次戦への意気込み。

とにかく1プレー、1プレーを大切に細部から立教を圧倒するだけです。

◆インタビュー #6 舘 虎之介 (LB)



■慶應大学と対戦した印象。

とても準備してくるチームという印象でした。特にパスはうちのカバーの穴をつかれたという内容でした。

■慶應戦の反省

試合の入りの部分は反省でした。Dとして1stシリーズタッチダウン取られたのはすぐに改善しなければいけないと感じました。

■次戦への意気込み。

立教は2年連続秋で負けている相手なのでしっかり準備して圧倒します。

◆インタビュー #0 白岩暉基 (DL)



■慶應大学と対戦した印象。

昨年負けた相手で手強く、特にQBのスクランブルが上手なイメージ。

■慶應戦の反省

初戦ということもあってか、ファーストドライブが固くなってしまった

■次戦への意気込み。

2回目のFF僕が見せます！



■次戦

2025年9月13日(土) 18:00 K.O. アミノバイタルフィールド立教大学との対戦です。

初戦勝利の波に乗り、去年のリベンジを果たすことができるか。
慶應戦で見つけた新たな課題を克服し、立教戦へと臨みます。

立教戦への勝利にむけて、試合会場をネイビーカラーで埋め尽くしましょう！
GRIFFINSを皆様の熱い応援でサポートしましょう！

Go ! GRIFFINS.